

報道関係各位

2023年9月28日

No.2305

経費精算業務における経理担当者の負担軽減には 申請・承認業務のデジタル化 ～『eValue V 2nd Edition ライブラリ 経費精算 for ワークフロー』をリリース～

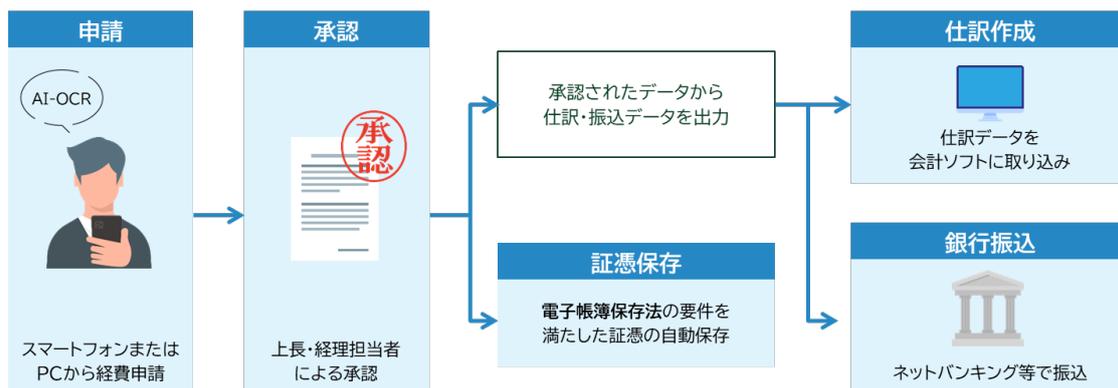
ソフトウェア開発ベンダーの株式会社 OSK(本社:東京都墨田区、代表取締役社長:橋倉 浩)は、DX 統合パッケージ『eValue V 2nd Edition ワークフロー』のアドオン製品として、経費精算業務に特化した『eValue V 2nd Edition ライブラリ 経費精算 for ワークフロー(イーバリュー ブイ セカンドエディション ライブラリ ケイヒセイサン フォー ワークフロー)』を2023年9月28日(木)に発売いたします。

2023年10月からインボイス制度が開始され、仕入や経費の請求書、領収書では適格請求書のチェックなど、従来よりも経費精算業務の負担が増えます。経費精算業務は業務量が多く、分散化もしにくいいため、業務負担の軽減には、システム化することによる入力処理の分散化が挙げられます。分散による入力ミスや漏れのチェックなどと合わせ、負担を減らすことが重要です。

このたび、経費精算業務で抱えるさまざまな課題を解決する『eValue V2 ライブラリ 経費精算 for ワークフロー』をリリースします。

本システムでは、経費申請時にスマートフォン等で撮影した領収書・請求書を AI-OCR で読み取ることによって転記の手間とミスを無くし、システムによる入力漏れチェックで確認作業を削減します。また、承認データを利用した支払データ、銀行振込データの出力も行えるため、経理担当者の事務処理負担を大幅に軽減します。

出力データは、会計システムで仕訳データとして取り込み、伝票入力効率を上げることも可能です。弊社製品以外にも、協業先であるピー・シー・エー株式会社がサービスを提供している「PCA クラウド 会計」で取り込めます。



『eValue V2 ライブラリ 経費精算 for ワークフロー』は、汎用的なワークフローをベースにした経費精算システムであり、電子帳簿保存法にも対応可能なため、経理業務の大幅な効率化に貢献します。

今後もお客様のニーズに合わせた製品／サービス提供を行ってまいります。

■DX 統合パッケージ eValue V2 ご紹介ページ

https://www.kk-osk.co.jp/products/evalue_v/index.html?p

【販売開始日】

◇2023 年 9 月 28 日(木)

※クラウド版の SMILE V Air についても同様の機能を提供いたします。提供開始日等の詳細に関してはお問い合わせください。

※「eValue V」は株式会社 OSK の登録商標です。

※文中に記載の製品名等固有名詞は各社の登録商標または商標です。

■株式会社 OSK コーポレートサイト:

<https://www.kk-osk.co.jp/>

■お客様お問い合わせ先

株式会社 OSK マーケティング本部 販売促進課

TEL :03-5610-1651 FAX :03-5610-1692

e-mail: webmaster@kk-osk.co.jp

■報道関係お問い合わせ先

株式会社 OSK マーケティング本部 広報担当

TEL :03-5610-1670 FAX:03-5610-1692

e-mail: koho@kk-osk.co.jp